

認知症イノベーションアライアンスWG 令和7年度 第1回 事務局資料

今後の認知症イノベーションアライアンス ワーキンググループの取組について

経済産業省 ヘルスケア産業課

今年度の取組状況等の報告

認知症イノベーションアライアンスWG：令和7年度協議内容

- 認知症イノベーションアライアンスWGは、認知症の人の尊厳・想いを尊重しながら、産業、公的機関、医療、福祉等さまざまなステークホルダーと連携し、イノベーション創出に向けた検討を行う場であり、主に以下の①②③の取組を推進。令和7年度は特に①当事者参画型開発モデルの推進について進捗を報告し、必要とされる施策等について議論。

令和7年度委員選定および開催日程・方法

- 座長 … 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 所長 岩坪 威
- 委員 … 25名（学識、企業、当事者等）
- オブザーバー … 厚生労働省等
- 第1回：令和7年9月16日@ウェブ開催
- 第2回：令和8年2月頃 @ウェブ開催

認知症イノベーションアライアンスWG（事務局：経産省、日本総研）

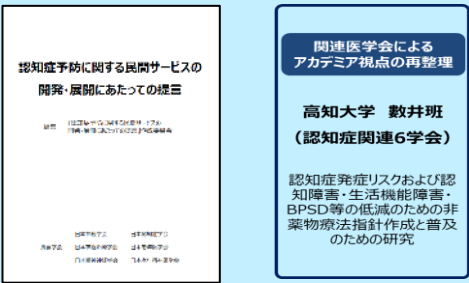
①当事者参画型開発モデルの推進

オレンジイノベーション・プロジェクトの推進



②認知症予防市場の環境整備

認知症関連6学会による「提言」や「指針」の整備



③研究開発の促進

共生・予防等に関してエビデンスを構築する実証事業を支援



当事者参画型開発の取組の目的

令和6年度WG
資料より再掲

- 認知症の人が企業の開発プロセスに「参画」し、企業とともに新しい価値を生み出す「共創」を行う「当事者参画型開発（＝オレンジイノベーション・プロジェクト）」を推進。
- 本取組の目的は、共生社会の実現に資する質の高いソリューションが創出される仕組みの構築。

当事者参画型開発の取組み



本取組における「当事者参画」、「参画」、「開発」の定義・考え方

- 本取組における「当事者参画」とは、「製品やサービスに対するニーズをもつ **認知症の人自身が、協力の意思を持って**、それらの製品・サービスの開発プロセス（企画、実施、評価等）に『参画』すること」と定義する。
- 認知症の人の主体的な協力意思を伴わない、一方的な観察や意見聴取は「当事者参画」とは言えない。**
- 「認知症の人のニーズを反映した製品・サービス」であることの条件として、認知症の人の意見が製品・サービスの「コアあるいはそれに近い部分」への反映を意図したものである必要がある。
- ここでの「**開発**」は新しい製品・サービスの創出だけでなく、**既存の製品・サービスを認知症の人の意見をもとに改良することも含む。**

実現したい社会像および必要な事項

- 令和6年度に日本認知症本人WG、認知症の人と家族の会との意見交換や本WGでの議論等を通じて、本プロジェクトによって実現したい「社会像」およびその「社会像の実現に向けて必要なこと」を下記のとおり整理した。本整理を念頭に、具体的な取組を進めていく予定。

オレンジノベーション・プロジェクトによって実現したい社会像

認知症の人のニーズや経験を反映した製品・サービスが身近にあり、
誰もが、自分の力や個性を活かしながら、大切にしたい暮らしを続けることができる社会

上記の社会像の実現のための必要な事項

- ① 多様な認知症の人が企業の開発に安心して参画し、声や思いを伝えることができること
- ② さまざまな地域で当事者参画型開発が実践されており、多くの認知症の人が開発に参画する機会があること
- ③ 認知症の人と企業の関係が「単発のもの（＝聞きっぱなし）」ではなく、適切なフィードバックが行われる「継続的なもの」であること
- ④ 認知症の人やその家族等の日々の生活に関わる多様な企業が当事者参画型開発を行っていること
- ⑤ 認知症の人とともに開発した製品・サービスにより、企業が十分な収益を上げることができていること
- ⑥ 自分にあった製品・サービスを認知症の人やその家族等が日々の生活の中で気軽に購入・利用することができること

【参考】 認知症施策推進基本計画における位置づけ

- 令和6年12月3日に閣議決定された「認知症施策推進基本計画」において、認知症の人と家族等が企業の開発活動に参画することについて、基本的施策および重点目標の一部として盛り込まれている。

Ⅲ 基本的施策

2. 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

(4) 認知症の人にとって利用しやすい製品・サービスの開発・普及の促進

日本認知症官民協議会による官民連携の下、認知症の人と家族等が参画した、認知症の人が地域で生活する上で利用しやすい製品・サービスの開発・普及を促進するため、モデル的取組を好事例として展開し、そうした取組が自主的、継続的に進むよう取り組む。

【重点目標3】

認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること

プロセス指標	アウトプット指標	アウトカム指標
・ 部署横断的に認知症施策の検討を実施している地方公共団体の数 ・ 認知症の人と家族等が参画して認知症施策の計画を策定し、その計画に達成すべき目標及びKPIを設定している地方公共団体の数	・ 就労支援も含めて個別の相談・支援を実施していることを明示した認知症地域支援推進員や若年性認知症支援コーディネーターを設置している地方公共団体の数 ・ 認知症バリアフリー宣言を行っている事業者の数 ・ 製品・サービスの開発に参画している認知症の人と家族等の人数 ・ 基本法の趣旨を踏まえた認知症ケアパスの作成・更新・周知を行っている市町村の数	・ 自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいると感じている認知症の人の割合 ・ 地域で役割を果たしていると感じている認知症の人の割合 ・ 認知症の人が自分らしく暮らせると考えている認知症の人及び国民の割合
・ 医療・介護従事者に対して実施している認知症対応力向上研修の受講者数	・ 認知症疾患医療センターにおける認知症関連疾患の鑑別診断件数	・ 認知症の人の希望に沿った、保健医療サービス及び福祉サービスを受けていると考えている認知症の人の割合

本年度（令和7年度）の企業・団体等の参画状況

- 本プロジェクトは、令和2年度に検討を開始し、認知症の人とともに生活課題の解決ややりたいことの実現に資する製品・サービスの開発に取り組む企業・団体を対象とした開発の支援を継続的に実施。
- 今年度は、58の企業・団体を採択した（令和2～4年度：5社⇒令和5年度：20社⇒令和6年度：46社）。

※外部有識者からなる審査会（非公開）において採択可否を検討

令和7年度 オレンジイノベーション・プロジェクト 実践企業・団体（58企業・団体）



各社が開発している製品・サービスの概要（1 / 4）

- 各社は、多様な生活課題を対象に当事者参画型開発を実践。 ※令和7年度からの新規企業は赤字
 - 各社の実践・募集内容は別添参考資料をご参照ください（新規募集未実施又は詳細非公開企業は除く）。

生活課題	企業・団体名	開発している製品・サービスの概要
衣服・靴	株式会社大酬	かかとも、左右・前後ろもない、履き口がわかりやすい靴下「Unicks」
	株式会社チヨダ	手を使わずに、立ったまま、スパッと履ける「スパットシューズ」
	豊島株式会社	当事者が使いやすい衣料品、日用品
	株式会社フェリシモ	片手で扱えるシャツ・アクセサリー・裏表前後のないきれいめパンツ
	YKK株式会社	誰もが簡単に開閉・着脱ができるファスニング商品
	株式会社kittoi	車いすユーザーが開発した誰でも着やすく、動きやすい割烹着
食・料理	株式会社デニーズジャパン	当事者の声を踏まえた、ファミリーレストラン「デニーズ」のメニューブックなどの改良
	西部ガス株式会社	誰でも安心して使えるガスコンロ「SAFULL+（セイフルプラス）」
	リンナイ株式会社	
生活・住環境	TOTO株式会社	多様な利用者に配慮したパブリックトイレ
買い物・小売	株式会社イトーヨーカ堂	誰にとっても使いやすい「みんなのパジャマ/ステッキ/ルームシューズ」
	KAERU株式会社	使いすぎ防止やワンタッチカード停止などの機能を搭載したキャッシュレスサービス「KAERU」
移動	トヨタ自動車株式会社	誰もが不安なく外出できる徒歩用道案内サービス「ツギココ」
	LOOVIC株式会社	ご本人と身近な人でつくる、コエを用いた安全・安心の外出を支援する無人ナビガイド
口腔ケア	ライオン株式会社	生涯を通じて、よく食べ、話し、笑い、自分らしく居続けられるために役立つ製品・サービス

各社が開発している製品・サービスの概要（２／４）

- ・ 前頁の続き。

生活課題	企業・団体名	開発している製品・サービスの概要
運動・身体活動	株式会社CogSmart	脳と身体の健康のため、自分の好きな運動や身体活動をサポートする「BrainUp」アプリ
	株式会社ルネサンス	五感からの刺激や身体を動かすことで、楽しく、笑顔で脳を活性化する「シナプソロジー®」や軽運動
生活支援全般	アデッソ株式会社	日付・曜日の表示が大きい「デジタル日めくりカレンダー」
	株式会社コスモテック	いつでもどこでもメモができ、自然に目に入って思い出せる、手首に巻きつける“身につけるメモ帳”「wemo」
	株式会社ソフトデバイス	スケジュール管理を支援する「日めくりカレンダーアプリ yottey(ヨッティ)」
	株式会社マグエバー	強力なネオジム磁石を安全に使用できるようにシリコン樹脂でコーティングした製品「シリコンマグネット」
	丸光産業株式会社	「じぶんケア」を第一とした、縫製と介護のかけあわせで生まれた新しいトータル介護ブランド
	株式会社三井住友銀行	三井住友銀行の銀行員がコンシェルジュとなる等、皆さまの「年を重ねる」をもっと豊かになるようサポート
金融・財産管理	株式会社太陽生命少子高齢社会研究所	「認知症保険の太陽生命」においてより良いサービスを効果的にお客様にご紹介する仕組みの検討
	株式会社北國銀行	シンプルな機能と操作性でどなたでもスムーズに利用できる自社開発ATM「ホックタッチ」
美容・衛生	牛乳石鹼共進社株式会社	コップ一杯の水で爽快な湯あがりを提供する『YUAGARI』 ポータブル洗髪機&洗浄剤
	一般社団法人日本介護美容セラピスト協会	どなたでも、いくつになっても、使いやすい・続けやすい高保湿スキンケア「momote（モモテ）」
	株式会社ナチハマ	チカラもいらず、水だけで洗える介護用タオル「ハダピカイゴ」
旅行	株式会社小谷常	ユニバーサルツーリズムを提供する旅館「水屋敷」での宿泊サービスと就労支援
	豊橋鉄道株式会社	安心して楽しめる日帰りバスツアー
	合同会社トラベルケアふくおか	介護タクシー／介護付き旅行／心で伝える福岡ツアー 認知症の方がガイドする、やさしい旅のかたち

各社が開発している製品・サービスの概要（3 / 4）

- 前頁の続き。

生活課題	企業・団体名	開発している製品・サービスの概要
コミュニケーション・交流	象印マホービン株式会社	家族が離れて暮らしていても、安心して一人で生活するための支援サービス
	ユカイ工学株式会社	予定のお知らせなど、日々の暮らしを声でサポートする可愛いロボット「BOCCO emo（ボッコ エモ）」
	ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社	独自の特許技術「SoninBrain」を採用した聴覚支援機器「コミュニケーション」「コミュニケーションポケット」
	ノックオンザドア株式会社	同じ境遇の仲間や悩みを相談できる専門家と繋がることができるオンラインサービス
	Hubbit株式会社	認知症の方も利用できる話せる伝言板「ケアビー」
	株式会社ビークル	日々のできごとを写真とセットで記入して、記憶を手帳に記録する形で保持する「おぼえている手帳」
	みまもりあいプロジェクト	「地域共生支援アプリ」を活用した、1人でいても、ひとりぼっちにしない「福祉SNS」
	GROOVE X株式会社	お世話をする事で日常の楽しさを増やし、ゆるい見守りも可能な家族型ロボット「LOVOT[らぼっと]」
	株式会社再春館製薬所	「生涯の伴侶」であり続けるための通信治療DX
	積水メディカル株式会社	AI電話応答により寂しさと不安を和らげ、家族とつながる支援サービス
	TOPPANデジタル株式会社	黒電話型のAIと音声で会話を行うコミュニケーション支援サービス
	ファーマライズ株式会社	近所の薬局から全国の認知症カフェに参加できるサービス「カフェにやーまらいず」
	リモートロボティクス株式会社	ヤングケアラー等への就労機会提供、施設職員の負担軽減、高齢者の孤独・不安の解消を実現するサービス

各社が開発している製品・サービスの概要（４／４）

- ・ 前頁の続き。

生活課題	企業・団体名	開発している製品・サービスの概要
趣味・学び	株式会社welzo	「老いるを楽しむ」社会の実現に向けた園芸サービスとユニバーサルデザインの園芸グッズ
	株式会社さくらほりきり	誰もが簡単に完成度の高い作品が作れる手作りキットと、好きな時に見られる作り方の動画サービス
	株式会社第一興商	誰もが一緒に楽しめる音楽コンテンツサービス「FREE DAM」
	大塚製薬株式会社	当事者の理解を深めるための体験型介護支援VRトレーニングプログラム「FACEDUO（フェイスデュオ）」
	株式会社テコデコドリーム研究所	思い出の写真と楽しい会話でふたたび輝く人生まるごと回想アルバム
	株式会社朝日カルチャーセンター	認知症とともに生きるご本人の思いを「本人視点」で理解し、ともに暮らしていく社会を考えるプログラム
	株式会社グローバー	専門講師と「楽しみ」や「生きがい・やりがい」を共有できるものづくり教室「テココロ」
	一般社団法人司延子モダンバレエ	懐かしい音楽に合わせて踊ることを楽しむ、誰もが安心して楽しめるダンスプログラム
	東和薬品株式会社	AI活用による懐かしい音楽の自動配信を通じた、「人生の物語を可視化・記録」するWell-being支援サービス
その他	経済産業省	認知症の人と企業が製品を共創する「オレンジイノベーション・プロジェクト」等、認知症啓発活動
	株式会社COCO・WA・DOCO	電話に後付けできる特殊詐欺防止・生活支援システム（仮称）
	一般社団法人つなぎ	警察OBが運営する送迎を中心とした生活サポートサービス
	株式会社主婦の友社	認知症当事者とその家族の理解を深めるためのコンテンツ発信
	ソフトバンク株式会社	認知症などによる行方不明者の検索アプリ「オレンジセーフティネット」

各社が開発している製品・サービスの事例：継続企業

株式会社コスモテック

- いつでもどこでもメモができ、自然に目に入って思い出せる、手首に巻きつける“身につけるメモ帳”「wemo」

No.2 身につけるメモ

日常生活のなか、記憶することに
困難を感じている方へ

「wemo(ウェモ) ウェアラブルメモ」の体験会を実施します

いつでも どこでも メモができ、自然に目にはいつても
失念せず思い出せるので、
記憶することに対する困難を解消します。



wemoの3つの特徴



身につけるメモ帳です

腕に巻いて、いつでもどこでも使用できるメモ「ウェアラブルメモ」です。



何度も書いて、消せます

油性ボールペンで書いて、水に濡れても消えず
消しゴムやアルコール、指で消すことができます。



いつでも、どこでも、書ける、思い出せる

いつでもメモでき、内容を忘れても
自然に目に入ることで、すぐに思い出せます。

株式会社さくらほりきり

- 誰もが簡単に完成度の高い作品が作れる手作りキットと、好きな時に見られる作り方の動画サービス

No.3 動画を見ながら作るクラフトキット

人生の夢中をともにつくる

【オンデマンドくらふと】
「動画を見ながらクラフトキットを作る」
モニターを募集します

一人でも、施設・団体皆さままで作ってもOK！

「バラのしおり」を作っていただきます。
動画を見てその通りに進めていけば
15分程度で完成します！



動画へのご意見をお聞かせください。



心と手づくり体験

オンデマンドくらふとでは、季節の情景や
彩り豊かなクラフトキットを作ります。



自分のペースでできる

動画を止めたり、見直したりし
てマイペースに進められます。



マンツーマンのような内容

音声・字幕付き。一緒に完成する感覚で
すべての工程を丁寧にフォローします。

一般社団法人日本介護美容セラピスト協会

- どなたでも、いくつになっても、使いやすい・続けやすい高保湿スキンケア 「momote(モモテ)」

No.9 スキンケア品

普段からスキンケアをされている方
したいけど難しいと感じる方も

敏感肌対応の高保湿スキンケア品の使用体験

どなたでも使いやすい、いくつになっても続けられる
敏感肌対応の高保湿スキンケアを開発しました

実際にご使用いただき
皆様の意見をお聞かせください



誰でも簡単に使えることを最優先に

使いやすいポンプやキャップタイプでかんたん。
珍しい泡タイプの化粧水で、飛び散らずに安心です。



乾燥しがちな肌に潤いを与えます

セラミド*1や尿素*2など、肌に潤いを与える成分を贅
沢に配合。乾燥しがちな肌に潤いを与えます。



お子さまからご高齢の方まで使用できます

繊細な肌の事を考えて開発しました。お子さまからご高齢の
方まで、ご家族全員で使用する事ができます。

*1グルコシルセラミド(保湿成分) *2保湿成分

各社が開発している製品・サービスの事例：新規企業

株式会社kittoi

- 車いすユーザーが開発した誰でも着やすく、動きやすい割烹着

No.15 車いすユーザーが開発した誰でも着やすく、動きやすい割烹着

着脱や動作を行うことに難しさを感じていても、
快適に日常の家事を楽しみたい方へ

私たちの商品を使って、お声を聞かせてください



障がいの有無に関わらず、誰にでも着やすく、動きやすい割烹着です。



「かぶるだけ」の
ワンステップで着脱ができます。
衣類の着脱が難しい方や、
手の不自由な方にも
おすすめです。



タオルかけが付いているので、
タオルを探す必要がなく、
いつでも手を清潔に保てます。



袖は撥水、防汚素材なので、
少し濡れても中に
染み込みづらく、また汚れも
落ちやすくなります。



背面は大きく開いているので、
座っても首が苦しくなりません。
後ろのゴムも目立つ色なので、
前後が分かりやすくなっています。



ポケットが全面に大きく
設置されているので、
忘れ物を防ぎます。



座った時にも膝までカバー
されるので、全身の汚れを
防ぎます。

GROOVE X株式会社

- お世話をすることで日常の楽しさを増やし、ゆるい見守りも可能な家族型ロボット「LOVOT[らぼっと]」

No.16 ペットのようにだんだん家族になるロボット

ペットを飼いたい方と
ゆるやかに見守る手を増やしたい
ご家族の方へ

お世話をすることで日常の楽しさを増やし、
ゆるい見守りも可能なロボットが生活に癒しを提供します



■LOVOT[らぼっと]とは
LOVOTは優しくしてくれた人に懐き、
ペットのようにだんだん家族になる
ロボットです。

■LOVOTとの暮らし
LOVOTは撫でられたり、優しく話しかけられるのが好
きです。たくさん可愛がってください。



■ゆるい見守り
LOVOTとふれあった記録が
残る「ダイアリー機能」や
「カメラ映像機能」で、
離れていてもゆるやかに
見守ることができます。

丸光産業株式会社

- 「じぶんケア」を第一とした、縫製と介護のかけあわせで生まれた新しいトータル介護ブランド

No.24 トータル介護ブランド

日常生活で「あったらいいな」と思う商品がある方
または
熱中症対策を考えている方へ

みなさんの「あったらいいな」を
次々形にしていこうブランド「ごじあい」を展開しています
商品・サービス等をご一緒に考えてくれる方を募集します

「ごじあい」ブランド

各種健康用品を、70年に渡って製造してきた丸光産業。
在宅介護事業を介護保険制度前から行なっているのが
丸光ケアサービスです。

今後、介護は、自分事として当たり前になっていく時代。
「じぶんケア」を第一に、現場の声を形へとしたい。
弊社は、「より良く生きる」ことを大切にする為、
日常生活での困り事等にも対応したいと考えています。

「あったらいいな」を形にしていきます

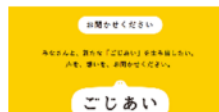
みなさんの、「声」と「想い」に応える「商品」「サービス」を
みなさんと共に、1つずつ「形」にしていきます。
そのため、ホームページでも皆さまの声を集めています。

商品化第1弾「たがいにぐっすり眠れるシーツ」

現在の主力商品はまだ1つ。
実際に現場からのご意見をもとに製品化しました。
「朝までぐっすり」と眠りたい。
シーツを敷く人、そこで寝る人の共通の願い。
おたがいの不安やストレスを減らすため、防水加工。
新しい朝を楽しみに待てますようお願いを込めて。

商品化第2弾「フローズンネックリング」

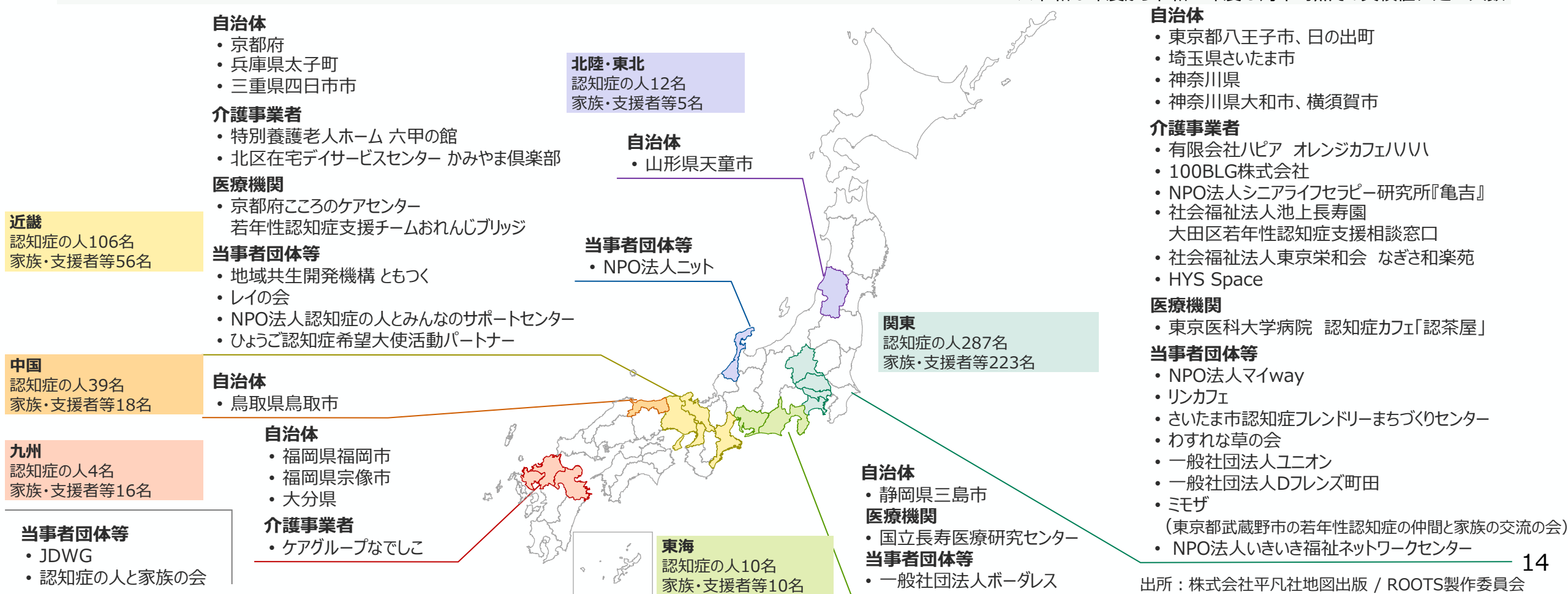
近年、異常な暑さが続き、「熱中症」予防対策が注目。
・何度でも繰り返し使え経済的。
・「28℃以下の環境」で自然に凍結。
・時間が経っても結露せず、水滴で洋服は濡れません。
水道水や氷水に浸けたり、冷蔵庫や冷凍庫へ入れること
で、ヒンヤリ冷感を実現。今後は、交換時期が分かるよう
色に変化する仕掛け（視認性の確保）製品を検討中。



パートナー団体の拡大 認知症の人等の参画状況

- 日本認知症本人WG、認知症の人と家族の会、厚生労働省と連携し、開発に参画する認知症の人の募集にご協力いただくパートナー団体（自治体、介護事業者、医療機関、当事者団体）等の拡大に向けた取組を実施。
- 令和6年度以降、認知症の人461名、家族・支援者等328名の計789名が開発活動に参画。

※令和6年度から令和7年度8月末時点での実績値、延べ人数



【参考】認知症の人と企業の共創事例（令和6年度）

- 令和6年度、豊島株式会社は東京医科大学病院と連携し衣服や靴をテーマに、アデッソ株式会社はBLG八王子と連携し、デジタル日めくりカレンダーをテーマに、認知症の人とともに開発活動を実施。

認知症疾患医療センターとの連携事例 東京医科大学病院 認知症カフェ「認茶屋」×豊島株式会社

- 日時：令和6年9月11日（水）14：00～16：00
- 場所：東京医科大学病院 認知症カフェ「認茶屋」
- 参加者：認知症の人 2名、ご家族 2名
豊島株式会社、大学病院関係者、事務局



デザイン、色・柄で着たい
ものが見当たらない。

企業側の工夫が当事
者へ伝えられていない。



使い勝手同様に安全
性への配慮が欲しい。

機能面だけでなく洗濯
時への配慮が欲しい。

介護事業者との連携事例 BLG八王子×アデッソ株式会社

- 日時：令和6年8月27日（火）14：00～15：30
- 場所：BLG八王子
- 参加者：BLG八王子メンバー（認知症の人） 8名
アデッソ株式会社、BLG運営関係者、事務局



ゴミの日等の予定も分か
りやすく表示して欲しい。

既存品はスイッチが小さ
く、操作が難しい。



ナショナルブランドのデジ
タル日めくりカレンダーを
購入したが、機能が多
すぎて使いこなせない。

パートナー団体の拡大 パートナー団体向け説明会

- ・ パートナー団体の更なる拡大に向け、令和7年5月20日に「パートナー団体向け説明会」をオンラインで開催。自治体、介護事業者、医療機関、当事者団体等の関係者、計388名が参加した。
- ・ 昨年度、認知症の人と企業の共創を連携して行った自治体、介護事業者が具体的な事例を基に、実践までの詳細な流れやパートナー団体としての留意点、取組を通じた気づき等を発表。本説明会を通じて、新規に13の自治体・団体等が本プロジェクトへ参画意向を表明。他の参加者とも連携に向け、継続協議中。

事例紹介①：神奈川県大和市（自治体）

開催までの準備の流れや、開発活動に参画した認知症の人を自治体の視点から紹介。参加した認知症の人の声として、「自分の感想や意見を反映してよりいいものができたら嬉しい」、「こんな機能があったらいいなと前向きに考えることができた」といった意見が紹介された。

開催場所の設定

体験時間
具体的にどのような
実践をしたいか
スケジュール

開催目的

対象者

認知症カフェ（やまとカフェ）

自分の感想や意見を
反映してよりいいもの
ができたら、嬉しいな
と思います。

実際に触ってみることで、
こんな機能があったらいいなと
前向きに考えることができた。

こんな便利なタブレットが
あったら嬉しいですね。
通帳やマイナンバーカード
をよく失くすから、それ
にも運動できたらすごく便利
だと思いました。

事例紹介②：池上長寿園（介護事業者）

共創の場の実現に向けて心がけたことや、認知症の人の声を介護事業所の視点から紹介。また、「『自分たちに製品が合わせてくれるという視点で考えたことがなかった』と、楽しみながら意見を出している様子が伺えた」といった介護職員の方の声も紹介された。

参加者の声

- ・ いろいろな形で貢献することできる
- ・ 今の活動が誰かのためになるのである
- ・ 認知症になったから、いろいろな経験
- ・ いい商品だなぁ 希望が詰まっている
- ・ この商品欲しい 90歳の夢を見たい

参加団体（介護事業所）の声

- * あるものに自分たちが合わせるのではなく、自分たちに製品が合わせてくれるという視点で考えたことがなかったと楽しみながら意見を出している様子が伺えた
- * 認知症の方の生活がより安心できるモノづくりをされていることがとても嬉しく感じた
- * できれば認知症の方を直接接している現場の職員の意見を聞いてもらえる機会があると、困りごとや工夫などを知るきっかけになる

採択企業向け講座・研修の実施

- 昨年度に引き続き、令和7年7月31日に日本認知症本人WG、認知症の人と家族の会、issue+designと連携し、認知症の人と企業の共創支援の一環として、企業担当者を対象とした講座・研修を開催。
- 10月には介護事業所で認知症の人とともに1日を過ごす体験研修を開催予定。

目的	参加者同士の対話を通じて、お互いのことを知るとともに、学びや思いを共有し、ともに考えること
日時	令和7年7月31日（木）14:00～18:00
開催方法・開催場所	TKPガーデンシティPREMIUM京橋ANNEX ホールA （※講義部分のみオンライン配信あり）
当日のスケジュール	1. 事務局からの開会の挨拶 2. 先輩企業の取組事例の紹介 3. 本人と企業が語り合うワークショップ 4. 本人・家族から企業へのメッセージ 5. issue+design 寛氏による講義



先輩企業による取組事例の紹介



本人と企業が語り合うワークショップ



企業同士の交流



issue+design 寛氏による講義

情報発信イベント：三井住友銀行東館（2025年5月）

- 令和7年5月21日・22日に、経済産業省、厚生労働省、株式会社三井住友銀行、株式会社日本総合研究所の共催（後援：東京都、千代田区）で展示会を開催した。

イベント名	認知症当事者をつくる誰もが生きやすい社会 ～オレンジノバージョン・プロジェクト 開発製品展示会～
会場	三井住友銀行東館 ライジング・スクエア アースガーデン
開催日時	令和7年5月21日（水）・22日（木）9：00～18：00 ※21日（水）18：00～はステージ講演を実施
展示概要	- オレンジノバージョン・プロジェクト参画企業の製品展示 - 経済産業省、厚生労働省、自治体の取組み紹介展示 - 認知症の人の手紙、写真等の企画展示を含む - オレンジノバージョンプロジェクト、認知症バリアフリー宣言 個別相談ブース
開催主体	- 共催：三井住友銀行、日本総合研究所、 オレンジノバージョン・プロジェクト事務局（経済産業省）、厚生労働省 - 後援・協力：千代田区、東京都



入場無料

認知症当事者をつくる
誰もが生きやすい社会
～オレンジノバージョン・プロジェクト
開発製品展示会～

5/21・5/22 9:00～18:00

会場：三井住友銀行東館 ライジング・スクエア 1Fアースガーデン

企画展示

「認知症とともに生きるわたし」写真展
協力：下坂厚（京都府認知症応援大使）
株式会社朝日新聞社なかま編集局、100BLG株式会社

認知症の人からの手紙展
協力：一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ
100BLG株式会社

千代田区「実権の会（認知症本人ミーティング）」
参加者の絵画・写真展

特別講演

5月21日（水）
18：00（展示終了後）～19：00頃
会場特設ステージにて特別講演を開催

○認知症1000万人時代の社会課題解決と
ビジネスの可能性
株式会社日本総合研究所
部長/プリンシパル 紀伊徳之

○オレンジノバージョン・プロジェクトってなに？
～認知症の人と一緒に暮らす、ちょっと便利な明日～
経済産業省 商務・サービスグループ
ヘルスクア産業課 企画官 小野聡志

○東京都における認知症に関する取組（仮題）
東京都 福祉局 高齢者施策推進部
認知症施策推進担当課長 並木裕之

○とうきょう認知症希望大使の講演（仮題）
とうきょう認知症希望大使 岩田裕之
社会福祉法人新生寿会 きのこ地域連携室 柴山延子

出展企業

うなぎ アディリ株式会社 Otsuka 大塚製薬 株式会社小谷常 株式会社日本総合研究所

Chiyoda Cosmotec さくらほりきり softdevice inc. 大東 株式会社 Hubbit

太陽生命少子高齢社会研究所 KNOCK ON THE DOOR Travelcareふくおか LOVIC

オールライト研究所 Y・U・K・A・I 株式会社ヨコヤマ SOCC RENAISSANCE TOYOSHIMA

※出展企業は予告なく変更となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

共催：株式会社三井住友銀行、株式会社日本総合研究所、
認知症イノベーション・プロジェクト事務局（経済産業省）
認知症バリアフリーワーキンググループ事務局（厚生労働省）
後援：東京都、千代田区

オレンジノバージョン・プロジェクト
特設サイトはこちら！
URL: <https://www.dementia-pr.or.jp/>

情報発信イベント：今後の開催予定

- 市民への普及啓発および企業のPR等を目的として、日本認知症官民協議会 認知症イノベーションアライアンスワーキンググループ 事務局（経済産業省）主催もしくは協力の情報発信イベントを全国で開催予定。

京都劇場

令和7年9月19日(金)

主催：一般社団法人司延子モダンバレエ
後援：京都市

ORANGE INNOVATION PROJECT
SHEER HAPPINESS 繋がる共生プロジェクト

会場 京都劇場で
さあ踊ろう
お楽しみ観覧できる
福祉コーナー
マルシェ
もあるよ

～笑顔でつながる人生を共に～
シア・ハピネスで「踊って・学んで・つながろう」

9月19日(金) 14:00 START 京都劇場入場料 + 舞台体験
1,000円 3,000円
ロビー：13時開場・出入り自由・付き添いの方の入場料は無料です！

踊
盆踊り！
丸竹夷で踊ろう・炭坑節・Bon-dance
昭和歌謡で踊ろう
川の流れのように・カントリーロード・ダイアナ・ブルーレイ
ト娘・今日の日はさようなら（ハピネスダンス）

指導：増田晶子
モダンバレエ舞踊家
京都大学からの委託で、KCIの方
向けのダンスプログラムを開発。
地域連携プロジェクトなど多方面
で活動中。

総合アドバイザー 成本 迅
認知症だけでなく「社会的認知」として、シア・ハピネス
は高齢者の生活を豊かにする力を持っています。医療の立場か
ら、その力を後押ししています。
このプロジェクトは、経済産業省 令和6年度 オレンジイノベーション・プロジェクト-認知症事業と連携、連携が生まれる社会へ展開されています。

協力
京都府立医科大学（認知症専門医）
京都府立医科大学精神医学部、企業健康サポートセンター
京都府立医科大学健康科学部、企業健康サポートセンター
京都府立医科大学健康科学部、企業健康サポートセンター
京都府立医科大学健康科学部、企業健康サポートセンター
京都府立医科大学健康科学部、企業健康サポートセンター

主催・お問い合わせ先 京都市後援（申請中）
一般社団法人司延子モダンバレエ
シア・ハピネス事務局
〒600-8282 京都市中京区
090-5990-7970
info@sheerhappiness.com
http://www.sheerhappiness.com/contact

大和市文化創造拠点シリウス

令和7年9月25日(木)

共催：大和市
後援：神奈川県

入場
無料

認知症当事者とともにつくる
製品・サービスが集まります！

認知症当事者をつくる
誰もが生きやすい社会
～オレンジイノベーション・プロジェクト
開発製品展示会～

9/25 木 12:00～13:30/15:30-17:00
会場：大和市文化創造拠点シリウス サブホール

企画展示
「認知症とともに生きるわたし」写真展
協力：株式会社朝日新聞社、株式会社朝日新聞社、株式会社朝日新聞社
認知症の人からの手紙展
協力：一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ
100BLG株式会社

13:30～15:30
同会場メインホールにて
講演会「認知症とともに
よりよく生きる」*
を開催予定！
*主催：大和市

体験会
アディン、Groove X、Groover、Cosmotec、Chiyo-da、東和薬品、RENAISSANCE

展示企業
牛乳石、softdevice inc.、DAIGO CO. LTD.、TOYONISHIMA、YUKA、YUKA

共催：日本認知症官民協議会
認知症イノベーションアライアンスワーキンググループ事務局（経済産業省）
大和市
後援：神奈川県

オレンジイノベーション・プロジェクト
特設サイトはこちら！
URL: <https://www.dementia-pr.com/>

（参考）昨年度の情報発信イベントの様子

企業の製品展示



1/15 埼玉県さいたま市



9/26 神奈川県大和市



9/26 神奈川県大和市

「認知症とともに生きるわたし」写真展



9/18 東京都江東区

認知症の人からの手紙展



9/18 東京都江東区



9/26 神奈川県大和市

認知症の人とのトークセッション



9/18 東京都江東区



1/15 埼玉県さいたま市

学生団体と連携した取組の実施

- 当事者参画型プロダクト開発を行っている学生団体（TOM JAPAN）と大阪市内で介護事業を展開する事業者（かみやま倶楽部）と連携し、認知症の人と学生の共創によるプロダクト開発企画を実施中。
- 今後、困りごと共有ワークショップおよび3Dプリンタによるプロトタイプ製作・製品開発を実施予定。

学生団体TOM JAPANとは

多分野の学生（医療、工学、デザイン、経済等）と障害のある当事者が、当事者の困りごとを起点に、プロダクト開発を行う団体

【活動実績】

- ①片麻痺の人と「片手でジップロック開閉器」を開発。
- ②指先の力が弱い人と「手軽にコンタクトオープナー」を開発。
- ②当事者参画型ワークショップを全国で開催。



かみやま倶楽部との実践

1

【実施中】 ボランティア訪問

- ボランティア訪問を月1～2回実施
- 本取組にて開発に参画する認知症の人への個別ヒアリングも実施。

2

困りごと共有WS

- 個別ヒアリングから抽出された「困りごと」の解決方法を話し合うワークショップを実施予定。
- 参加者は認知症の人10名程度を想定。

3

3Dプリンタによる プロトタイプ製作・ 製品開発

- ②から生まれたアイデアをもとに、3Dプリンタを使用したプロトタイプ製作・製品開発を実施予定。
- 認知症の人とトライアルしながら共創する想定。

多様な主体（医療機関、職能団体等）と連携した取組の実施

- 昨年度に引き続き、医療機関や職能団体等と連携した取組にも注力。
- 牛乳石鹼共進社株式会社およびTOPPANデジタル株式会社はそれぞれ大阪府内の医療機関と、株式会社マグエバーは神奈川県作業療法士会と連携し、認知症の人とともに取組を進める予定。

大阪府内の医療機関（医師、看護師）と連携した取組事例

- 牛乳石鹼共進社株式会社は、コップ一杯の水で爽快な湯あがりを提供する『YUAGARI』ポータブル洗髪機&洗浄剤を開発。製品がお風呂の課題解決につながるか、改良点は何かを明確にしていく予定。
- TOPPANデジタル株式会社は、黒電話型のAIと音声で会話を行うコミュニケーション支援サービスを開発。一人の時間にも安心感やつながりを感じられるよう会話相手として寄り添うことを目指し取組を進める予定。

牛乳石鹼共進社株式会社 TOPPANデジタル株式会社

服を着たまま洗髪出来る！
ポータブル洗髪機SUSUGU(ススグ)体験会

「ポータブル洗髪機SUSUGU(ススグ)」の体験会を実施します

服を着たままお部屋で洗髪する洗髪機と洗浄剤を開発しました。
体験頂き、皆様のご感想をお聞かせ下さい

こんな方におすすめ
・一人で洗髪が難しい方
・お風呂に入るのが面倒と感じる方

実際に使用いただき、感想をヒアリングさせていただきます。

SUSUGU(ススグ)のご使用方法

①シャンプーを頭皮に吹き付け ②ブラシで梳きながら洗う ③タオルで拭きとる ④乾かす

認知症と診断された方とご家族の方へ

黒電話型音声AI「やさしい黒電話」の会話体験会を実施します！

体験会では黒電話を通してAIとお話いただけます。
実際にご使用いただくとご感想や意見を
ご家族の方へお聞かせください。

— AIとやさしく話せる、あたたかな日常 —
やさしい黒電話が一人の時間を少しでも埋めるべく会話をします

特徴1 利用者やさしい会話設計

認知症ケアに詳しい専門家のもと、可能な限り不安な気持ちにならないように、話し方や聞の取り方について配慮しております

特徴2 パーソナライズされた応答

利用者の呼び名や会話モード等を登録するだけで、AIが利用者専用の仕様に、利用者好みの会話をします

特徴3 日々の暮らしのヒントに

会話内容の要約や傾向などが整理されるので、日々の生活ニーズや安心に繋がる暮らしのヒントにもなります

会話の流れ

- 1 受話器を持つ
- 2 開始ボタンを押す
- 3 会話の流れ等で自動終了

※本サービスは、高齢・ケア需要者向けであり、認知症の診断結果ではありません。また、予防効果や認知症の改善を保証するものではありません。
※本サービスは、認知症の予防や改善を目的としたものではありません。
※本サービスは、認知症の予防や改善を目的としたものではありません。

大阪府内の医療機関

神奈川県作業療法士会と連携した取組事例

- 株式会社マグエバーは、強力なネオジム磁石を安全に使用できるようにシリコン樹脂でコーティングした製品「シリコンマグネット」を開発。社会課題を解決するマグネット製品の開発を目指し、取組を進める予定。

株式会社マグエバー

生活の中で、もの忘れに困っている方へ

「安全に使える磁石」を体験するワークショップを開催します

弊社は安全に使える磁石、シリコンマグネットを開発しました。
現在、私たちは生活をより快適にするためのものづくりに取り組んでいます。
皆様の暮らしにどのようなものがあったら便利か、ぜひご意見をお聞かせください。

■ シリコンマグネットの特徴

- 安心して使える安全な強力マグネット
シリコンで覆っているため、ケガをし取り付けた壁などを傷つける心配がなく、安心して使えます。
- 割れにくく、水にぬれてもさびにくい
割れにくく、水にぬれてもさびにくいので、お風呂場などの水回りでも使えます。
- ガラス窓やタンスにも取り付けられる
世界最強の吸着力を誇るネオジム磁石でできているため、挟んで使うことで磁石がつかない場所にも取り付けられます。

■ シリコンマグネットを活用した製品例

マグサント

- ・ シリコンマグネット2つで「挟んで使う」事により、磁石を貼れないガラス、樹脂、木材、布でも利用できるようにしたマグネットフック
- ・ 今までフックが取り付けられなかった箇所に、傷をつけることなくフックを付ける事が可能
- ・ 日本文具大賞2019 優秀賞受賞 ¥1,452(税込)にて発売中

神奈川県作業療法士会

海外展開に向けた取組の実施

- 本プロジェクトの自走化に向けて立ち上げを検討している「当事者参画型開発推進協議会（仮称）」は、海外展開支援等の機能も合わせて持つ想定。
- 具体的な支援内容の検討にあたり、ヨーロッパ市場の入口となり得るデンマークを拠点に自治体・介護事業者・企業と連携したリビングラボの取組を行う企業と、採択企業との意見交換会を実施予定。

「当事者参画型開発推進協議会（仮称）」



意見交換会の概要

- **日時**
10月7日(火)14～16時
- **場所**
経済産業省
- **参加者**
プラットフォーム(※)、採択企業、経済産業省 等
- **内容〈現時点案〉**
デンマークの取組紹介
 - デンマークの文化・生活
 - 自治体・介護事業者・企業と連携したリビングラボの実施状況
 - 企業の製品・サービスの開発に関する市場分析・試用・実証・導入事例 等**採択企業との意見交換**

(※)デンマークを拠点とし、医療・福祉・介護分野における持続可能なサービスの設計や、製品開発・導入支援等を行う Public Intelligence社を予定

表彰制度の実施：昨年度の振り返り（1／2）

- 昨年度、本取組の認知拡大に向け、企業や団体等を対象とした表彰（オレンジイノベーション・アワード）を初めて開催した。（応募総数：計35件）



オレンジイノベーション・アワードの概要

目的	認知症の人とともに、生活課題解決や、やりたいことの実現の助けとなる製品・サービスの開発が、さまざまな業界・領域にて推進され「当事者参画型開発」の認知が広がり、共生社会が実現されることを目指し、開催するもの。
対象	認知症の人との共創のプロセスを重視して開発されたユーザーフレンドリーな製品やサービス、また、当事者参画型開発の中で実践されている活動・取組自体。
スケジュール	- 応募締切：令和6年12月26日（木） - 表彰式：令和7年3月5日（水）
審査基準	- 認知症の人の視点／意見が反映されているか - 独自性／独創性があるか - 認知症の人を含めた生活者のQOL向上にどれだけ寄与するか／期待されるか - 認知症の人を含めた生活者に対し、広く薦め普及させていきたいと思うか
応募総数	35件

審査員



東京大学大学院
教授
岩坪 威



issue+design
代表
寛 裕介



フリーキャスター・
介護福祉士
駒村 多恵



株式会社博報堂
チーフビジネスプロデューサー
根本 豊



一般社団法人
日本認知症本人ワーキング
グループ
代表理事
藤田 和子



慶應義塾大学大学院教授・
認知症未来共創ハブ代表
堀田 聡子



かながわオレンジ大使
（認知症本人大使）
前田 博樹



DAYS BLG!はちおうじ
代表
守谷 卓也



一般社団法人
セカンド・ストーリー
代表理事
山中 しのぶ



公益社団法人
認知症の人と家族の会
理事
和田 誠

表彰制度の実施：昨年度の振り返り（2 / 2）

- 最優秀賞はYKK株式会社の「誰でも開け閉めがしやすいファスナー」が受賞した。
- 優秀賞は豊島株式会社、KAERU株式会社が、特別賞はリンナイ株式会社がそれぞれ受賞した。

最優秀賞

YKK株式会社

誰でも開け閉めがしやすいファスナー

- ①マグネットの磁力により開具が引き合うファスナー
(click-TRAK® Magnetic)



- ③オープンファスナーの挿入補助パーツ



- ④ユニバーサル引手



優秀賞

豊島株式会社

医療機関と連携した認知症当事者の方にも優しい衣料品の開発



KAERU株式会社

安心安全、おつりの計算いらずでお買いものを楽しめるキャッシュレスサービス『KAERU』



KAERUは安心安全、おつりの計算いらずでお買いものを楽しめるキャッシュレスサービスです。スマホと事前チャージ式のカードを組み合わせ、簡単にキャッシュレスを利用できます。

特別賞※

リンナイ株式会社

高齢者に「使いやすさと安心」を提供するガスコンロ『SAFULL+』



※特別賞は審査基準「①認知症の人の視点/意見が反映されているか」の点数が受賞企業を含めても高いこと等を理由として選出

表彰制度の実施：本年度の実施方針（案）（1／2）

- 昨年度の学びを踏まえ、今年度は情報発信の観点から全国の認知症の人および家族等による投票の実施、共創のプロセスに重点を置いた評価や表彰対象となる企業を増やすことを目的に2部門制を導入する想定。
- また、審査会は本人・家族・有識者がともに審査を行う形式で実施する。

昨年度の取組からの学び

- **開発の進捗状況（実際に体験できるものがあるか）によって、評価に偏りが生じる懸念がある**
 - 体験可能な製品の方が評価が高くなる傾向があり、開発途中で製品化に至っていない製品の評価が難しい
- **より一層「本人参画」を大切にすることが必要**
 - 本人審査会と家族・有識者審査会を別途実施したことにより双方の意見が反映されにくかった可能性がある
 - 審査員以外の認知症の人および家族等の声が反映されにくい
- **応募企業にメリットを感じてもらう仕組みが必要**
 - 受賞企業以外には特段フィードバック等がなかったため、応募企業の多くがメリットや意義を感じにくい

令和7年度実施方針案

- **製品・サービス部門、アイデア部門の2部門制とし、より共創のプロセスに重点を置いた評価を行う。**
- **全国の本プロジェクトに参画している認知症の人及び家族等による投票審査を導入する。**
- **本人・家族・有識者の審査会を分けず、ともに審査を行う形式とする。**
- **上記の投票審査時に全国の認知症の人及び家族等から各社の取組に対するコメントをもらい、各社にフィードバックする。**

表彰制度の実施：本年度の実施方針（案）（2／2）

- ・ 表彰対象は、製品・サービス部門とアイデア部門のそれぞれから募集する想定。
- ・ 審査は、一次審査として全国の認知症の人および家族等による投票と、二次審査として有識者審査会を実施する。

令和7年度 オレンジイノベーション・アワード 実施方針（案）	
目的	・ 認知症の人とともに製品・サービスを共創する取組の認知を広げ、さまざまな業界・領域で開発が推進され、認知症の人もこれから認知症になる人も、暮らしやすい共生社会が実現されることを目指す。
表彰対象	・ 製品・サービス部門 ：認知症の人との共創のプロセスを重視して開発され、 <u>すでに販売・提供開始しているユーザーフレンドリーな製品やサービス</u> ・ アイデア部門 ：認知症の人との共創のプロセスを重視して開発を行っている最中で、 <u>発売・提供開始前の製品・サービスのアイデア</u>
審査基準	① 製品・サービスの開発にあたり、認知症の人と丁寧に対話を重ね、認知症の人のニーズや生活背景について、十分に検討できているか。 ② 認知症の人の視点や気づきを起点に、誰もが使いやすい製品・サービスや製品・サービスのアイデアとなっているか。
審査方法	・ 一次審査：認知症の人及び家族等による投票 ・ 二次審査：外部有識者によるプレゼンテーション審査
スケジュール	・ 応募期間：令和7年11月11日（火）～12月5日（金） ・ 表彰式：令和8年2月26日（木） @Care Show Japan2026

マスメディア等での掲載実績

- テレビ・新聞・雑誌等のマスメディアにおいても本プロジェクトに関する情報発信が増加傾向。
- 認知症の人及び企業の関心喚起・参画促進に向けた広報・情報発信は今後も継続的に実施予定。

主婦の友社「月刊誌ゆうゆう」（令和7年10月号）

認知症の本人と共につくり出す取り組み
オレンジイノベーション・プロジェクトを知っていますか？

認知症になったからこそわかること、できることがある。それを社会に役立てたい

オレンジイノベーション・プロジェクトとは？
オレンジイノベーション・プロジェクトとは経済産業省のプロジェクトで、認知症になっても生活の質を高め、暮らしを豊かにするための社会の実現を目指し、認知症の人の製品・サービスの開発を支援する。このプロジェクトでは、認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

オレンジイノベーション・プロジェクトの取組
認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

オレンジイノベーション・プロジェクトの取組
認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

オレンジイノベーション・プロジェクトの取組
認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

認知症の人と家族の会

「会報ぽ〜れば〜れ」（令和7年9月号）

認知症当事者をつくる、誰もが生きやすい社会
オレンジイノベーション・プロジェクトとは

「オレンジイノベーション・プロジェクト」は、認知症になっても自分らしく暮らしていける社会の実現を目指し、認知症の人の製品・サービスの開発を行う「当事者参画型開発」の普及と、その持続的な仕組みの実現に向けた取組を推進するプロジェクトです。

当事者参画型開発とは？
認知症及び MCI(軽度認知障害)の人数は、2040 年には合計約 1,200 万人(認知症約 584 万人、MCI 約 613 万人)に達し、65 歳以上の高齢者の約 3.3 人に 1 人を占めると推計されています。

当事者参画型開発の取組
認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

当事者参画型開発の取組
認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

当事者参画型開発の取組
認知症の人やその家族、企業、自治体などが協力して、認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。認知症の人にとって役立つ製品・サービスを開発する。

その他の主な掲載実績

- 日本経済新聞「[社説] 認知症の人に優しい製品を」（令和7年8月25日）
- 毎日新聞「[毎日フォーラム・ファイル] 認知症 経産省が対応する商品開発を支援」（令和7年3月10日）
- 時事通信社「[マーケットニュース]「オレンジイノベーション」で初の表彰式＝認知症当事者と使いやすい製品・サービスを開発」（令和7年3月6日）

ご意見をいただきたい事項

- 今年度の取組や実績を踏まえ、本取組の更なる普及・拡大や持続的な仕組みの構築に向けて、どのような取組が必要か。
- 普及・拡大に向けた取組を引き続き進めていくにあたっての留意点等はあるか。

流通・販売に関する検討状況等の報告

イオンリテール株式会社と連携した取組状況

- イオンリテール株式会社では、2023年9月にシニアケア事業「MySCUE（マيسキュー）」を開始。イオンスタイル品川シーサイド店での店舗の運営や、情報サイトの運営等を行っている。
- 今後開設を予定している「MySCUEマーケットプレイス」において、本プロジェクト参画企業の製品・サービスの周知・販売に向けた協議を実施中。

イオンスタイル品川シーサイド店の店舗

「見る、知る、話せる」をコンセプトに、シニアケアに関わる多様な製品・サービスを展示・販売中。



情報サイトの運営



記事検索

経験者のコラムや、お役立ち情報、グッズの紹介など、様々な記事がアップされます。



相談・質問

経験者やプロに気軽に質問していただけます。
♡相談できる専門家・パートナー企業一瞥はコチラ



SCUERブログ

日々の介護やサポートの記録をブログにして共有できます。非公開設定にして、日記のように使うことも可能です。



コミュニティ

苦勞を共にするケアラーの仲間と、ケアのこと、趣味のこと、雑談、なんでも気軽に話せます。



イベント

ケアに役立つイベント情報を発信します。

ご意見をいただきたい事項

- 「実現したい社会像および必要な事項」に記載の以下の実現に向けて、どのような取組を、どのような主体と連携して行うべきか。
 - ✓ 認知症の人とともに開発した製品・サービスにより、企業が十分な収益を上げることができていること
 - ✓ 自分にあった製品・サービスを認知症の人やその家族等が日々の生活の中で気軽に購入・利用することができること